



桜の季節を迎えて

京北に来て初めての春を迎えました。まだ来たての頃「京北は桜がきれいだから、春を楽しみにしとき！」と色んな人にいわれたその意味を、この春ははっきりと理解しました。どこに行っても桜！桜！桜！それも地区ごとにそれぞれ特徴があって、こんなに楽しい春は初めてかもしれません。



常照皇寺/山国



宝泉寺/周山



出逢い桜/弓削

また地区ごとに「見ごろの季節」が違うのも、なんとも素敵だなあと思うわけです。地域として広く、標高も少しずつ違うことで、京北という地域の中で、長い期間に様々な桜の風景を楽しむことができます。こうした特徴をもっと多くの人びとに知っていただきたいと思いました。

周山音頭の練習が始まりました

夏はまだまだ先ですが、4月22日に「周山音頭」の練習が始まり、参加させていただきました。



これは、数年前に保存会が解散された周山音頭を、それでも引き継ぎたいとの思いを持った 地元の有志の方々によって開催されているものです。

こんご夏に向けて、月に2回程度集まって練習していきたいとのことで、関心がある方は是非ご参加ください！

5月は13日(月)と27日(月)のそれぞれ20時から、会場は【橋向老人児童センター】です。

黒田・京北昔がたり今がたり 第2回開催

京北に暮らす人生の大先輩の思い出をみんなで聞こう！と黒田「きくやカフェ」で始まった【京北昔がたり今がたり】の第2回目が開催されました。



今回は、企画のうわさを聞きつけて街中や南丹からもお客さまがきてくれました。

戦後すぐの修学旅行の話、山仕事事情、そして変わりゆく京北への思い・・・2時間が短すぎるくらい、たっぷりとお話を聞かせていただきました。

そしてこの取り組みを他の地区にも広げたい、ということで、6月19日15時から(予定)「細野グリーン会館」でも、細野の方を招いて開催いたします。たくさんのご参加をお待ちしております。

「いい夫婦の日」事業を 市長におけてご紹介しました

昨年11月22日に出張所事業として開催しました【いい夫婦の日に京北で届出婚式】が、京都市役所内の優秀事例として市長賞を受賞しました。



それに際して、市長および2019年度新規採用職員に向けて今回の取り組みと、京北地域について10分ほど紹介させていただきました。地元の熱いご協力をいただき実現したこの事業を、多くの方に知っていただくとても良い機会でした。

今月の1冊



奥中康人『幕末鼓笛隊：土着化する西洋音楽』大阪大学出版会 2012年

この本は、幕末以降、西洋音楽がどのように日本に受容されていったかについて、【山国隊】の軍楽をとっかかりとして書かれている本です。